

災害増えた日本 何か貢献したい

工藤さん(佃中)13歳で防災士

県内最年少、3月に取得

青森市佃中
校2年の工藤

空さん(13)が中学1年だった今年3月、防災士の資格を取得した。資格認証に当たるNPO法人「日本防災士機構」(東京)によると、13歳での資格取得は県内最年少。工藤さんは「専門知識を生かして人の役に立ちたい」と思いを語る。

(安達一将)



防災士の資格を取得した工藤さん。「人の役に立ちたい」と笑顔を見せた

町職員 地元への飲食店応援

民間資格である防災士は、地域の防災活動に参加

協力するだけでなく、防災講演や災害図上訓練、避難所の設営訓練などの場面で、自治体から依頼されて派遣されるケースも増えている。資格取得には、社会の防災力を向上させる知識や技能が求められる。

祖父も防災士という工藤

さんは昨年、「地球温暖化の影響で、日本でも災害が増えている。何か貢献できることがないかと考えた」と一念発起。約300名に及ぶ分厚い教本を取り寄せ、学校の授業や部活動の合間を縫って勉強を重ねた。昨年12月には十和田市で研修講座を受講し、試験にも合格。今年1月には救急救命講習を修了し、晴れて防災士となった。

「知らない言葉や情報が多かったら、その意味を調べたりするのが大変だったけど、勉強してきたことが形となって良かった」と振り返った工藤さん。将来の夢は未定だが「地域の防災活動にも参加してみたい」と笑顔を見せた。

同機構によると、全国の

い」と話した。

同組合によると、今後は

防災士の認証者数は4月末時点で19万5913人、このうち県内は2522人となっている。同機構の担当

者は「13歳での取得は全国で102人。全体から見れば少数といえる」とコメントした。

中央公民館・村民体育館複合施設 建設工事の安全祈願

来年度早々オープン予定

田舎館

田舎館村中央公民館・村民体育館複合施設の工事の安全祈願祭が18日、村役場の建設現場で行われ、関係者約20人が、村民待望の

施設が無事に完成することを願った。2021年2月完工予定で、21年度早々のオープンを目指している。

中央公民館は1976(昭和51)年、村民体育館は79年建設で老朽化が進み、村は20



18年度から建て替え事業を行っている。新施設は隣の村役場と同様に城をイメージした外観を採用し、2階建てで延べ床面積は3

この日の安設現場内で行村長や工事参列。神事の村長が「村の会教育の基盤地として村民建物」などと寄せた。

530平方メートルは1階に大ホール、三つに分け、調理室、階部分に書庫設ける。体音にはギャラリー防災倉庫を設けの建設、口事、体育館跡設なども含む。約19億6900